

不燃ごみの中に 有害ごみは絶対に 入れないで下さい



不燃ごみは、日野市クリーンセンターで細かく砕いて二ツ塚最終処分場に運び込み、飛散防止のために土をかぶせて埋め立てています。私たちが排出している不燃ごみに有害ごみが混じっていると、有害物質を埋め立ててしまうことになります。

そのため、有害物質などが不燃ごみの中に混じることがないように、私たちはしっかりと分別しなければなりません。混入が繰り返されると、処分場への搬入が停止され、不燃ごみの最終処分ができなくなってしまいます。

不燃ごみの中には、有害ごみを絶対に入れないよう、分別の徹底にご協力ください。



不燃
ごみ搬入
の様子

有害ごみの出し方

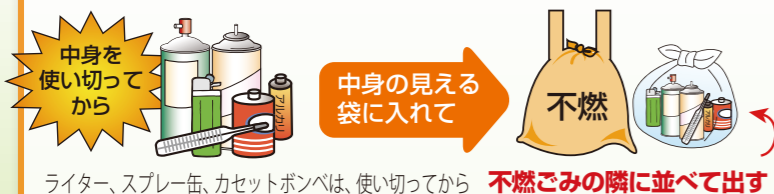
① 蛍光管（割れたものを含む）



割れないように箱などに入れて

不燃ごみの隣に並べて出す

② 乾電池、ボタン電池、水銀体温計、ライター、スプレー缶、カセットボンベ



中身を使い切ってから

中身の見える袋に入れて

不燃ごみの隣に並べて出す

③ テープ類すべて（ビデオテープ、カセットテープ、プリンターやFAXのインクリボンなど）



中身の見える袋に入れて

不燃ごみの隣に並べて出す

ケースがある場合はケースに入れて。

※①②③はひとまとめにせずお出しください

日の出町のご協力により 最終処分場が運営されています



日の出町にある二ツ塚最終処分場は、町民の皆さまのご理解・ご協力のもと、運営されています。日の出町以外の地域から運び込まれたごみを受

け入れてくださっている日の出町の皆さまのご理解・ご協力に感謝しつつ、私たちはより一層のごみ減量と徹底した分別に努めなくてはなりません。

次の最終処分場の確保は非常に困難です！

二ツ塚最終処分場は、私たちにとって最後の砦です。二ツ塚最終処分場に続く最終処分場の確保は非常に困難であり、この二ツ塚最終処分場が満杯になると、次の処分場はありません。

このため、この二ツ塚最終処分場を可能な限り長く使い続け、次の世代、また次の世代へと引き

継いでいかなければなりません。

最終処分場を受け入れてくださっている日の出町の皆さまのご理解・ご協力に伝えるためにも、市を挙げて徹底したごみの分別と減量に取り組んでいきましょう。

ごみ処理は同じ課題を抱える市町村が 共同で処理しています

二ツ塚最終処分場の運営を行っている「東京たま広域資源循環組合」は、多摩地域25市1町で構成された一部事務組合（同じ事業を複数の地方公共団体が運営する場合に設立される組合）です。

最終処分場だけでなく、ごみの焼却処理な

ども施設の建設・運営を一部事務組合で行っている市町村が増えています。

ごみ処理を広域で行うことは、「市に処分できる場所がない」、「最終処分に経費がかかる」などの課題を抱える市町村にとって、経費の縮減や処分場確保の点で利点があります。

可燃ごみも さらなる減量を



可燃ごみは、日野市クリーンセンターで焼却し、その焼却灰を二ツ塚最終処分場に運び込みます。

今まで焼却灰は埋め立てていましたが、処分場内にエコセメント化施設を建設し、平成18年から可燃ごみを焼却した灰をエコセメントの材料として100%資源化しています。

これにより、処分場の運営期間が大幅に延伸されましたが、処分場は有限の施設であり、引き続き可燃ごみの減量に取り組むことには変わりはありません。

可燃ごみはその半分近くが「生ごみ」です。

- ① 余分なものは買わない
- ② 食材は使いきる
- ③ 食べ残しはしない
- ④ 生ごみの水分をよく絞る
- ⑤ ダンボールコンポストなどにより生ごみを堆肥化する

これらの取り組みにより、生ごみのさらなる減量にご協力ください。



エコセメント化施設



エコセメント製品

道路の縁石や側溝、歩道の舗装ブロックなど